

研究テーマ 様々な立場の人々の視点を通して、社会的事象を多角的に追究させる指導の工夫
—第4学年 「郷土の伝統や文化 ～秩父夜祭～」—

【提案】

秩父夜祭を具体的な事例として、地域の人々が郷土の文化財や年中行事の保存に尽力していることに気づかせることができないかと考えた。秩父夜祭に関わる様々な立場の人々の願いや思いに触れる中で、児童も伝統を受け継ぐことの大切さや保存をしていくことの困難さを深く学ぶことができた。しかし、自分たちの地域では伝統や文化を受け継ぐ人が少なくなっているといった課題を知り、地域の伝統や文化を守るための解決策について児童に考えさせ、地域の一員としての自覚を高めるようにしたいと考え、本実践を提案する。



かみかわほうじょうだいこ
【神川 豊穰 太鼓 の方々による和太鼓の演奏体験】

1 実践のポイント

(1) 様々な立場の人々の視点から、社会的事象を多角的に追究する【地域素材の教材化】

県内の伝統や文化の学習では、「県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること」が目標の一つとして掲げられている。本小単元では、秩父夜祭に関わる人々として、「秩父神社の神職」「秩父銘仙の職人」「屋台行事を受け継ぐ町会の人たち」「秩父観光協会の人たち」の4つの立場を設定する。様々な立場の人々の視点から社会的事象を考えていくことで、秩父夜祭を秩父市の大きな伝統行事として発展させてきた地域の人々の願いや思いが「わかる」ことへと繋げるようにする。

(2) 社会的事象と自分たちとのつながりを問い直す「振り返り」の活動

本小単元は秩父夜祭を具体的な事例として挙げているため、自分たちの地域や生活との関係を上手く結びつけることができない可能性がある。そのため、学習したことを自分事として意識させるため、毎時間の「学びの振り返り」を行い、学習内容のより深い理解へと繋げていく。さらに、学習した社会的事象に対して問い直しを行い、地域に見られる課題に対する問題意識、選択・判断を通して導き出した社会とのかかわり方など自分達の生活や社会に対する「小単元の振り返り」も行う。そして、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を育んでいく。

2 実践の位置づけ

(1) 小学校学習指導要領との関連

内容(4) 県内の伝統や文化、先人の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア(ア) 県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること。

イ(イ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。

イ(イ) 歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現すること。

県内の文化財や年中行事の具体的な事例として「秩父夜祭」を取り上げた。秩父夜祭は、「日本三大曳山祭」の1つにも数えられ、埼玉県内のみならず日本が誇る伝統文化である。平成28年にはユネスコ無形文化遺産にも登録され、海外でも広く知れ渡る日本の伝統文化の1つとして取り上げることが出来る。一方で、神川町は秩父地方にも近いので、秩父夜祭を実際に見に行っていたことがあるという児童も多く、児童にとって身近な教材にもなりうると思った。

(2) 実践のポイントの学習評価との関連

・ 具体的知識や用語などを網羅した単元指導計画

本実践は地域素材を教材として扱うため、中心概念の獲得に向け、どのような具体的知識や用語を理解させるのか構造的に単元計画を作成していく必要がある。指導と評価の計画においては、児童の言葉に置き換えて、具体的な知識や用語を網羅することにした(太字部分)。

これらを踏まえた上で、児童のノートや評価テストをもとに社会的事象やその意味についての理解度を評価した。

・ 評価を行うための資料収集と評価場面の設定

本実践では、児童の学びの振り返りが評価対象として大きな比重となる。そのため、ノートや学習シート等の記述内容を評価資料として効果的に収集することが大切である。指導と評価の計画においては、教材や学習活動に応じた児童の反応がどの児童からも得られる場面を見出し、「評価した結果を記録に残す場面」として明示した(「指導と評価の計画」の網掛け部分)。

3 実践の内容

(1) 単元の目標と評価規準

埼玉県で受け継がれている文化財や年中行事について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして年表などにまとめ、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現することを通して、埼玉県の文化財や年中行事は地域の人々が受け継いできたことや、地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解できるようにする。

埼玉県で受け継がれている文化財や年中行事について、学習問題を主体的に調べ解決しようとするとともに、学んできたことを基に、自分たちにできることなどを考えるなど、地域に対する誇りや愛情をもち、地域の伝統や文化の継承に協力していこうとする態度を養う。

知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>①県内に残る文化財や年中行事及びその歴史的背景や現在までの経緯、保存や継承に取り組む人々の努力や込められた願いなどを基に、県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらに地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解している。</p> <p>②文化財や年中行事について見学・調査したり地図などの資料で調べたりして分かったことを図などにまとめている。</p>	<p>①文化財や年中行事について、その始まりや受け継いできた人々の取組などから問いを見出し、保存や継承の取組と人々の願いや努力と関連付け、文化財や年中行事の意味や長く続いてきた理由を考えて表現したり、話し合ったりしている。</p> <p>②学習したことを基に、文化財や年中行事の保存や継承に関わって、自分たちにできることを考えたり、選択・判断したりして表現している。</p>	<p>①文化財や年中行事について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組に関心をもち、問題解決の見通しをもって主体的に学習問題を追究・解決しようとしている。</p> <p>②文化財や年中行事を継承していくために、自分たちにできることを考えようとしている。</p>




(2) 指導計画と評価計画（12時間）

○内の数字は時間を表す。
 < >内は評価の方法を表す。

※網掛けは、評価した結果を記録に残す場面

知：知識・技能 思：思考・判断・表現
 態：主体的に学習に取り組む態度

	学習活動・学習内容	評価の観点・内容・方法	資料
つかむ	①② 神川町では、どのような祭りや文化財が現存しているのかを知る。 ・神川町では、豊穰太鼓 ^{ほうじょうだいこ} の人達が昔から伝わるお囃子や伝統芸能を受け継いでいる ・盤台祭り ^{ばんだい} は300年以上も前から、町の伝統行事として行われている ・金鑽神社 ^{かなざなじんじや} は昔から残る建物で、貴重な文化財も保管されている ・神川町のように、埼玉県他の市町村でも昔から残っている文化財はあるのだろうか	態① 町内の年中行事について、見たり参加したりした経験などを発表しようとしている。 （発言・ノート）	・神川町の文化財の写真  盤台祭り  金鑽神社多宝塔
	③ 県内にある国指定の文化財を知り、秩父夜祭の写真をもとに、疑問点や調べたいことを話し合い、学習問題をつくる。 ・小川町の和紙は伝統工芸品として職人が受け継いでいる ・熊谷市にある歓喜院聖天堂は古くから残る建物であり、国宝として大切に保存されている ・秩父夜祭の屋台行事はユネスコ無形文化遺産にも登録され、世界的に価値のあるものである 学習問題 秩父夜祭は、だれが、どのような思いを持って、受け継いできたのでしょうか。	思① 埼玉県内の様々な文化財と位置について調べ、白地図を用いて適切に表現している。 態② 秩父夜祭の様子から、祭りの内容について考え、学習問題をつくろうとしている。	・埼玉県内の文化財の写真  小川町伝統工芸会館  歓喜院 聖天堂
	④ 学習問題を追究するための学習計画を立てる。 ・秩父夜祭の歴史 ・秩父夜祭の概要 ・秩父夜祭を受け継ぐ人たちの取組と願いや思い <調べ方> ・インタビュー ・インターネット ・写真資料 <まとめ方> ・秩父夜祭を受け継ぐ人たちの願いや思いを図にまとめる	思① 秩父夜祭の様子を基に学習問題づくりや予想、学習計画を考え、適切に表現している。 （発言・ノート）	・秩父夜祭の映像  秩父夜祭
	⑤ 秩父神社の年表を読み取り、秩父神社の神職の取組と願いや思いについてまとめる。 ・800年以上前から行われている神事（御神馬奉納）は今でも続いている ・秩父神社の例大祭として行われた神事が秩父夜祭に変わっていった ・秩父神社の大切な神事なので昔ながらの形でこれからも受け継ごうとしている	知① 秩父神社の年表や写真資料を読み取り、祭りの起源について分かったことを適切にまとめている。 （発言・ノート）	・秩父神社に関する年表 ・秩父神社の神事の写真 ※P5参照
⑥ 秩父銘仙に関する写真や資料を基に、秩父銘仙の職人の取組と願いや思いについてまとめる。 ・秩父の絹織物を使った屋台が江戸時代に作られ、新しい屋台行事が始まった ・秩父夜祭に関わる町会の人たちは、秩父銘仙の職人が織った着物を大切に受け継いでいる ・秩父夜祭では秩父銘仙の絹市を開いており、たくさんの人たちに秩父の伝統文化を知ってもらおうとしている	知① 秩父夜祭の付祭に関する秩父銘仙の歴史について理解している。 （発言・ノート）	・秩父銘仙に関する年表 ・秩父銘仙の写真 ※P5参照	

調べる	<p>⑦ 秩父夜祭の屋台行事を受け継ぐ町会の人たちのインタビューや写真の資料を基に、町会の人たちの取組と願いや思いをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能を受けつぐためにも、地域の子供たちにも秩父屋台囃子を教えている ・秩父歌舞伎を伝えるために、小学校でも教えてくれる地域の人たちがいる ・夜祭の当日にも、屋台囃子や屋台の曳き踊りなどに、子供たちが参加している 	<p>知① 秩父夜祭に関する屋台や郷土芸能を保存するために様々な人々が技術や文化を受け継いでいることを理解している。 (発言・ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・秩父屋台囃子の映像 ・秩父歌舞伎の映像 ※P5 参照
	<p>⑧ 秩父観光協会の取組についての資料を基に、秩父観光協会の人々の願いや思いをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秩父夜祭の広報活動（ポスター・パンフレット等）を行っている ・夜祭当日に観光客などの案内を行い、多くの人に秩父夜祭を広めようとしている 	<p>知① 秩父観光協会では、秩父夜祭を広めるための活動をしていることを理解している。 (発言・ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・秩父観光協会の取組写真 ※P5 参照
	<p>⑨ 屋台の曳き回しをするコースが変更された理由について、資料を基に話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭い道を大きな屋台が通過するのは安全ではないので、大きな通りに変更になった ・町会の人数も減少してきており、昔は男性だけで行っていた屋台行事も女性や子供が参加するようになってきた ・伝統的を守ることも大切だが、時代に合わせて、少しずつ形を変えていくことも必要である 	<p>思① 秩父夜祭を受け継ぐ人々の取組から問いを見出し、保存や継承の取組と人々の願いについて考えたことを文章で表現することができる。 (発言・ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・屋台ひきまわしの様子  <p>昔の秩父夜祭の風景</p>
まとめる	<p>⑩ 調べたことを振り返りながら、学習問題についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">実践のポイント(1)</div> <p>〈秩父夜祭の概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・350年以上前から受け継がれている。 ・秩父神社の神事として行われていたものが、地域のお祭りへと変化していった ・秩父銘仙と屋台には関連性があり、秩父銘仙の職人が夜祭にも協力している ・秩父夜祭の屋台行事は複数の町会の人々によって、保存・継承されている ・秩父夜祭を広めるために、秩父観光協会の人々を中心に広報活動が行われている <p>〈秩父夜祭を受け継ぐ人たちの願いや願い〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秩父夜祭がこれからも続くよう、子供たちにも祭りを受け継いでもらいたい ・時代に合わせ伝統文化も形を変える必要がある 	<p>知② 学習してきた資料を基に、祭りの伝統を受け継ぐ人たちの想いや願いについて考え、図にまとめている。 (ワークシート)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">学習問題の結論</p> <p>秩父夜祭は、埼玉県内でも長い歴史をもつ祭りの1つであり、地域の発展と人々の幸せへの願いが込められ、今でも多くの人たちに大切にされている。ただし、伝統を受け継ぐには課題もあり、その時代に合わせて形を変えながら、地域の大切な文化を守っていく必要がある。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・秩父夜祭の写真  <p>秩父夜祭の屋台</p>
生かす	<p>⑪⑫ 文化財を守るために自分たちができることを話し合い、文章にまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">実践のポイント(2)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・地元で行われている行事にあまり参加していなかったため、積極的に参加するようにしていきたい。 ・町内でも太鼓をしている人がたくさんいるので、自分も太鼓の技術を受け継いでいきたい。 ・町内の文化財を守るための取組を町の人たちとも協力して行うとよいと思うので、町役場を中心に文化財の保存に向けた取組を考えていきたい 	<p>思② 文化財や年中行事の保存や継承に関わり、自分たちにできることを考えたり選択・判断したりしている。 (発言・ノート)</p> <p>態② 文化財や年中行事の保存や継承に関わって、自分たちにできることを考えようとしている。 (発言・ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・神川町内の獅子舞行事の写真  <p>池田の獅子舞</p>

4 実践結果と考察

(1) 様々な立場の人々の視点から、社会的事象を多角的に追究する【地域素材の教材化】

調べる過程において、①秩父神社の神職、②秩父銘仙の職人、③屋台行事を守る町会の人々、④秩父観光協会の人々など、秩父夜祭に関わる人々の取り組みを知る。

秩父夜祭に関わる人々の取り組み

秩父神社の神職の取り組み

○秩父夜祭の時に行われる御神馬の神事や雨神幸祭など、秩父神社の年中行事を行っている。




秩父銘仙の職人の取り組み

○秩父夜祭の屋台は、絹の織物でつくられた水引幕の飾りが使われている。



屋台行事を守る町会の取り組み

○秩父夜祭の屋台行事で行っている秩父屋台囃子を大人から子供まで受けついでいる。



秩父観光協会の取り組み

○秩父夜祭を広めるためのポスターをつくっている。



秩父神社の神職の取り組み

○秩父神社で神楽が演じられている。



秩父銘仙の職人の取り組み

○秩父銘仙の職人がつくった祭りの着物を今でも使っています。



屋台行事を守る町会の取り組み

○秩父夜祭の屋台で行われている秩父歌舞伎を受けつぐ人たちがいる。



秩父観光協会の取り組み

○花火大会や写真コンクールなど、秩父夜祭を盛り上げるためのイベントのお手伝いをしている。




学習問題
秩父夜祭は、だれが、どのような思いを持って、受け継いできたのでしょうか。

だれ	秩父神社の神職たち	秩父銘仙の職人たち	祭りを受け継ぐ町会の人々	秩父観光協会の人々
どのような	80年以上前から秩父神社の神事を行っている。秩父夜祭で行っていた例大祭が、秩父夜祭へと広がっていた。秩父夜祭の時は、神社で神楽の行事(例大祭)や御神幸行事をしている。	昔は秩父夜祭の時に、カゴの糸でつくられた糸引幕を売る市場が「間」があった。秩父夜祭の屋台には、糸引幕でつくられた水引幕が使われている。秩父夜祭では、糸引幕でつくられた着物を着ている。	秩父夜祭の地元の町会を中心に、取り組みをしている。祭りを守る人たちが、お囃子や歌舞伎に参画している。町会の人々が協力している。	秩父夜祭の文化を伝えるために、秩父夜祭のポスターやパンフレットをつくって、外国人にも案内しています。秩父夜祭をもり上げる活動をしていきたい。
願いや思い	秩父夜祭は、神社の大切な行事の一つだと思います。これからも変わらず取り組みたいと思っています。	秩父夜祭と銘仙は、深いつながりがあると思います。秩父銘仙などの秩父市の伝統文化をたくさんの人に知ってもらいたい。	お囃子や歌舞伎は、秩父の重要な文化だと思います。子どもたちにも、お囃子や歌舞伎の魅力を伝えていきたい。	秩父夜祭により多くの人が秩父に興味を持ってくれたいです。これからは、秩父夜祭の魅力を伝えていきたい。

ちがう取り組みをしているけど、楽しんでほしい、受け継いでほしいという思いは変わらない。

まとめる過程において、「だれが」「どのような取り組みを」「どんな願いや思いを持って」行っているのか、ワークシートに整理する。

異なる立場の人々の願いや思いを整理していくことで、多角的な思考で結論をまとめる手立てを講じた。



まとめる過程における思考の流れ

秩父神社の神職

秩父銘仙の職人

町会の人々

秩父観光協会

↓

秩父夜祭を受け継ぐ人たちの願いや思い

↓

秩父市に住む人々にとって秩父夜祭とはどのようなものなのか「学習問題の結論」を考察していく。

ワークシートに整理した情報をもとに、「秩父市に住む人々にとって秩父夜祭とはどのようなものなのか」、視点(立場)を明確にしながら学習問題の結論を学級全体でまとめた。



(2) 社会的事象と自分たちとのつながりを問い直す「振り返り」の活動

秩父夜祭を受け継ぐ人々の取り組みについて学習した内容を生かしながら、地域の文化財を守るために自分たちができることを考える。

学習内容を生かして、具体的な取り組みを考察する児童の姿

自分たちが行える実現可能性の高い取り組みとして、地域の文化財カレンダーをつくることを学級内で決定した。

① 池田の獅子舞
 ② 子どもの病気などをはらってくれる行事なので、終わ。てしま。うと病気の人がふえてしま。うか。もしれないから。です。

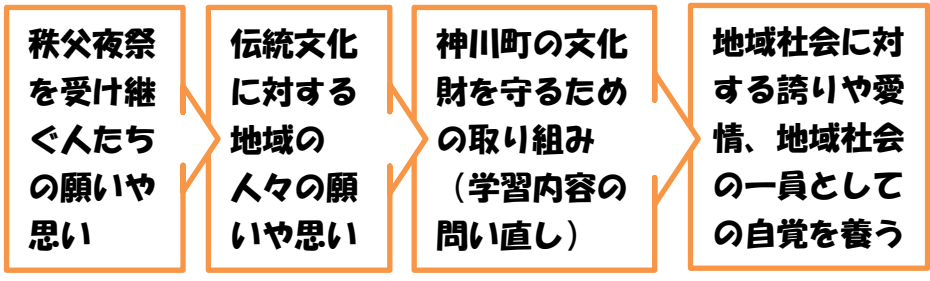
③ 池田の獅子舞は、池田の人以外にもや。ってほ。しいです。秩父観光協会の人たちみたいにカレンダーやパンフレットなどを作。って世界に広。めたいです。

- ① 特に守りたい文化財
- ② 選んだ理由
- ③ 自分たちでできること

児童が作成した地域の文化財カレンダー
 (左:表紙 右:毎月の内容例)



生かす過程における思考の流れ



秩父夜祭を受け継ぐ人々の取り組みを参考にしながら、地域の文化財を保存・継承する取り組みとは何か「問い」をもたせる。



5 研究の成果と今後の課題

〈成果〉

- ・ 秩父夜祭は「お蚕祭り」とも呼ばれ、養蚕業が盛んに行われていた神川町とも関連付けて学習を進めることができ、自分たちの地域の文化財に対する関心を高めることができた。
- ・ 振り返りの時間を確保していくことで、児童は伝統文化の保存・継承に関する課題を追究したり、秩父夜祭から地域の文化財の保存・継承について考えを深めたりするなど、社会とのかかわりについて思考を広げる児童の姿が見られた。

〈課題〉

- ・ 秩父夜祭の伝統行事の広がりについて、地図資料をもとに調べる活動をすることで4つの異なる立場の人々の取り組みと秩父夜祭の広がりを視覚的にも捉えることができたのではないかと考える。どのような資料を教材化するのか、更なる検証と教材研究が必要である。
- ・ 振り返りの記述について、「わかったこと・調べたいこと」などの振り返りの視点を提示していたが、記述内容や文章量に個人差があり、継続的な指導が必要である。